

図書館だより

1月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	①	②	③	④	⑤	6
7	⑧	⑨	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
21	⑳	22	23	24	25	26
27	28	29	30	⑳		

●印 休館日
月曜日・年始休館日(1月1日～5日)
祝日振替(9日)・月末館内整理日(31日)

今月の新刊図書案内

情報を捨てる技術 諏訪邦夫
フツフのはずなのに、どこか サエない男たち
国民の道徳 笠原真澄
星の旅人 西部邁
北条時宗とその時代 黛まどか
タリバン アハメド・ラシッド 工藤敬一
ガンジス河でバタフライ たかのてるこ

「節約子育て」の方法 ままとんきつず
ゆび編みがわかる本 シアーズ博士夫婦のベビーブック
ITSとは何か 森地 茂
オールドノリタケの美 井谷善恵
ゴルフアーにつける薬 坂田信弘
人前でアガらない話し方のコツ 諏訪隆志

都の西北貧乏狂物語 阿部牧郎
岬へ 伊集院静
四季・亜紀子 上・下 五木寛之
峠 北原亜以子
月狂ひ 小池真理子

市立図書館 今月の一冊

『いえでででんしゃ』



あさのあつこ 作 新日本出版
ママから「ムジツのツミ」でし
かられたさくら子は家出した。
夕方の駅に入ってきたポロ電車
は「いえでででんしゃ」。家出し
た子はただでのれるという。隣の
クラスのけいすけくんと一緒に
に電車にのったさくら子は…

『痛快！心理学』

和田秀樹 著 集英社インターナショナル
人類に残された最後の謎は
「心」である。心理学の基礎知識
から、「他人とじょうずに付き
合うための心理学」「頭のよくなる
心理学」まで、誰もが気になる
「心の科学」をわかりやすく、
具体的に解き明かす一冊。



全国ひとりでも泊まれる温泉の宿
偽善の爆発 ビートたけし
図解民事再生法 田作朋雄
恋せよ妻たち 林 望
密着母娘 門野晴子
子どもは親をまねて育つ サル・シビア
これから注意すべき地震・噴火 木村政昭
ガンと上手につきあいなはれ 黒田 清

霧の嵐 沢田ふじ子
陸影を見ず 曾野綾子
告発倒産 高任和夫
スプーン一杯のビール 立松和平
不況もまた良し 津本 陽
あふれた愛 天童荒太
鎖 乃南アサ
ミスキャスト 林真理子
睡蓮の長いまどろみ 上・下 宮本 輝
プラナリア 山本文緒
魚が見た夢 柳 美里
ラスト・ダンス エド・マクベイン

児童図書

悪党どものお楽しみ エド・マクベイン
ブラハの深い夜 パーシヴァル・ワイルド
バヴェル・コホウト 外二一八冊

こども偉人新聞
ぼくらが鳥人間になる日まで
絵で見るある町の歴史
捨て犬みかんとポチ
土は地球のエアコンだ
おへそのひみつ
漁師さんの森づくり
納豆はただのものではない！
なぞとき美術館
マークのほん
日曜の朝ぼくは
4年1組交換日記はもういらない
幸福の行方
丘の家、夢の家族
それぞれのかいだん
たからさがし
ヴィックは本なんてだいじらい！
ちよんまげとのさま
しあわせシシユカ
きかせてたのしいこと
かたつむりハウス

外一〇〇冊

心の健康シリーズ(93)

子供の「遊び」「手伝い」について考えてみましょう

生活用具の発達、普及から家庭生活は、便利で豊かな生活が送られるようになる反面、子供達の手伝いは減少し、また、遊びも孤立化、室内化など様変わりしてきています。

子供にとって「集団遊びや手伝い」は、教科書や図書から学べない大切な学習の場であり、協力と責任、思いやり、技術の向上など人間性の育成や、今、子供達に求められている「生きる力」を養う大事な場なのです。

市内のあるサークルが、小中学生と成人を対象に、子供のころの「遊び、手伝い、勉強などの時間」について調査した結果を見ますと「遊び」は、子供が二～三時間で、特に室内化、孤立化、同年令化の傾向が現れているのに対し、四十才以上の成人は一～二時間で、外遊び、連年齢集団遊びとなっています。

「手伝い」は、子供が平日四十五分、休日一時間～一時間半、成人が平日一時間半～三時間、休日一時間半～四時間で、これを比べると、子供の手伝いが少なくなっていることが分かりますし、子供の遊びの変化に気づきます。

こうしたことは、友人との触れ合いが稀薄となり、友達から学ぶことや技術の伝達を受ける機会も

少なくなってしまう。

多くの友達や家族とふれあうことによって、協力し合い、話し合う中でいろいろな知恵を学び、技術や方法を身につけ、お互いが理解し合い、豊かな人間関係が生まれます。

家庭では、家庭内の仕事を子供にも分担し、その役割を果たさせ、苦しいことも、つらいことも、楽しいことも体験させることが、その子のためにも大切です。

わが子が「遊び」や「手伝い」を通していろいろなことを経験し、経験の中から多くの知恵を学び、たくましく生きる力を身につけさせることが、子供を育てる親の役目です。

子供はうまくできないから、危ないからと言って、手伝いや遊びをさせなかったり、すぐ親が取り上げてしまつては、子供の力は育ちません。

子供はみな見習工であり、親は熟練工です。見習工は初めから上手にできるはずがありません。熟練工である親も初めから熟練工ではなく見習工だったはずで、できないながらも経験を積んで、次第に熟練工になっていくのです。

子供は常に新しいものに興味を持ち、常に学ぶ意欲を持っています。手伝いや遊びを通して「学ぶ意欲」を満たし、正しく生きる力のある子供に育てましょう。

子供の悩みことは、早めに

教育相談室で解決しましょう

☎(43) 1323